

クローラーキャリアのトラブルを防ぐ為に

首記の件、メンテナンス不良や不適切な取り扱いによるクローラーキャリアのトラブルを未然に防ぎ、休車時間を出来るだけ少なく出来るよう、運転操作時にオペレータの方に注意して頂きたい基本的な項目を「クローラーキャリア運転のポイント」として2ページにまとめました。クローラーキャリアを貸し出す際にオペレータ様への説明の一助として、また、両面印刷し運転席付近に設置するなど、ご活用下さい。

・対象機種

クローラーキャリア

IC37、IC55、IC75-2、IC120-2 等

・添付資料

「クローラーキャリア運転のポイント」

※注意 あくまでも基本的な内容となっておりますので、必ずお使いの機種に適合する取扱説明書に従ってお取り扱い下さい。

以上

クローラーキャリア運転のポイント

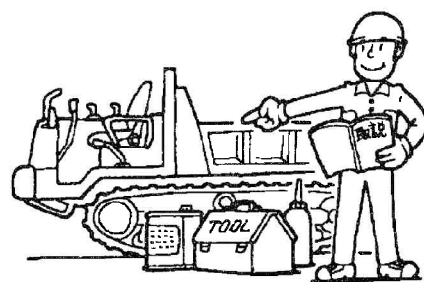
クローラーキャリアを安全に、そしてトラブルを未然に防ぐ為、必ず取扱説明書をよく読んでからご使用下さい。

大きなトラブルを予防する為、運転操作時は特に下記のポイントに気を付けて安全にご使用下さい。

※詳細についてはお使いの機種ごとの取扱説明書を参照して下さい。

01 運転前には点検を

- ① 冷却水、エンジンオイル、作動油の量を確認しましょう。
- ② エアクリーナーを清掃しましょう。
- ③ 暖機運転をしましょう。

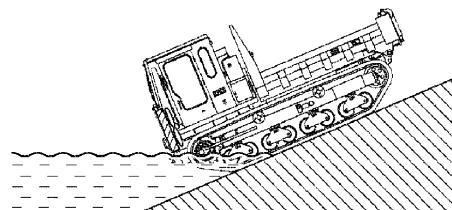


02 操作中のポイント

- ① 積載量を守りましょう。
- ② 急がつく操作は控えましょう。
- ③ 傾斜地では 1 速で走行しましょう。
- ④ 尿素水や燃料の補給はキーOFF の状態で行いましょう。
- ⑤ スピンターンはゴムシューを傷めますので控えましょう。
- ⑥ 計器盤の警報ランプが点灯した場合や、モニタに警報が表示された際にはすぐに点検、連絡を！

- ⑦ 走行可能な水深は下部ローラー上端までです。

入水角度によってはクーリングファンと水が接触し、重大な損傷につながります。



- ⑧ (DPF 付エンジン搭載機)

DPF 手動再生の表示が出た場合には出来るだけ、速やかに再生を行いましょう。

そのまま使用を続けると出力制限が掛かり、荷を積載しての走行が出来なくなります。

- ⑨ DPF の再生後や作業終了直後はクーリングの為、エンジンをすぐに停止せず、5～10 分のアイドリングを実施しましょう。

03 作業終了時

- ① 各部をグリスアップし異常が無いか点検しましょう。

